

STAGE+を楽しむ(349)(HP 収載)

—モーツアルトの魔笛—

1. 始めに

前報(348)に引き続き、STAGE+のモーツアルトの魔笛の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(348)に引き続きモーツアルトの魔笛の演奏を選びました。

ローランド・ビリャソン演出による《魔笛》

ザルツブルク・モーツアルト週間

収録日: 2026年1月27日

モーツアルトの生地ザルツブルクで毎年開かれる音楽祭「モーツアルト週間」。生誕270周年を迎える2026年の誕生日(1月27日)にハウス・フュア・モーツアルト(旧祝祭小劇場)で人気オペラ《魔笛》が上演されました。演出を手掛けるのは、テノール歌手としても世界的に著名なローランド・ビリャソン。指揮はロベルト・ゴンザレス=モンハスが務め、ザラストロ役のフランツ=ヨーゼフ・ゼーリヒ、夜の女王を歌うキャスリーン・リーウェックを筆頭に豪華な歌手陣が舞台を彩ります。試練と神秘に満ちた世界で描かれる、人間の成長物語をお楽しみください。

ソリスト:

フランツ=ヨーゼフ・ゼーリヒ (バス)、キャスリーン・リーウェック (ソプラノ)、
マグヌス・ディートリヒ (テノール)、エミリー・ポゴレルツ (ソプラノ)、セオドア・プラット (バリトン)、タマラ・イヴァニシュ (ソプラノ)、アリス・ロッシ (ソプラノ)、ステパンカ・プカルコヴァ (メゾソプラノ)、ノア・バイナート (アルト)、パウル・シュヴァイネスター (テノール)、ルパート・グレッシンガー (バスバリトン)

演奏:

ザルツブルク・モーツアルテウム管弦楽団、聖フロリアン少年合唱団ソリスト、ウイーン・フィルハーモニア合唱団

指揮:

ロベルト・ゴンザレス=モンハス

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト 歌劇《魔笛》



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、**LAN iPurifier Pro** の交換後に元に戻しています。

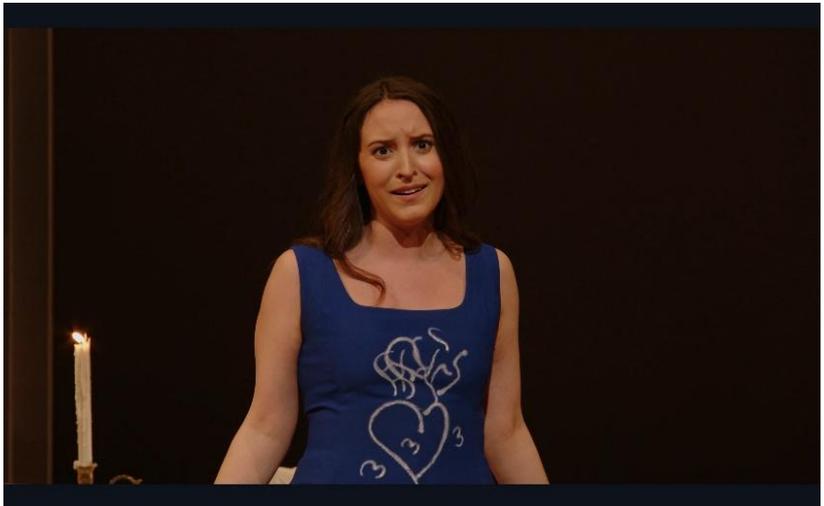
今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の **Brooklyn DAC+** に送り出しています。また、PC と **Brooklyn DAC+** の間の介在は、**iPurifier USB** からインフラノイズの **USB** アキュライザーに交換しています。クロック入力には **ABS-7777** を適用しています。

最新の収録だけあって、音質は秀逸で、ステージのライブ感はリアルです。台詞の多い曲ですが、台詞も歌唱も自然で、オーケストラの分離と協和も残響音を伴ってステージの進行そのままの印象です。

お馴染みのおいらは鳥刺しのアリアや夜の女王のアリアも生々しく感じます。

なお、演出は非常の凝ったものでした。







4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、最新の収録の音質が再現され、台詞も歌唱もオーケストラのステージのライブ感はリアルです。

以上